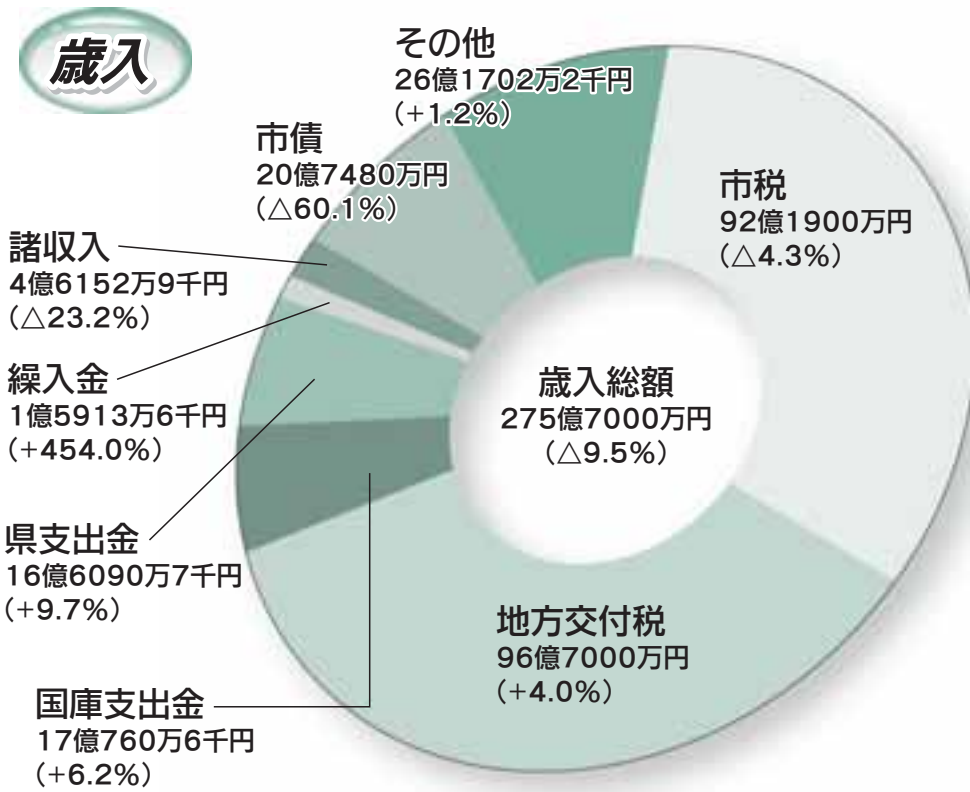


# 総額513億2,424万1千円

(一般会計275億7,000万円)

基本テーマは

## 「持続可能なふるさと創造 ―自立と連携(絆)―」



平成20年度がスタートしました。3月の市議会定例会において平成20年度予算案が可決され、成立しました。基本テーマを目標に震災からの復興を重点施策の一つに掲げ、さまざまな観点から市民との協働によるまちづくりを推進してまいります。

### 重点施策

#### I 次代を担う人を育てるまちづくり

- ・朝日中学校建設事業
- ・放課後こども教室推進事業
- ・基礎学力調査事業 ほか

#### II 震災復興と安全・安心なまちづくり

- ・被災者生活再建支援事業ほか震災復興支援
- ・ケーブルテレビ施設整備事業(第3期工事)
- ・中島統合保育園建設事業 ほか

#### III 人が集い、仕事のあるまちづくり

- ・和倉温泉まちづくり事業
- ・地域再生マネージャー事業
- ・七尾産材使用住宅助成事業 ほか

#### IV 文化の薫る、美しいふるさとづくり

- ・能登畠山家創立600年事業
- ・湯けむり薪能開催事業 ほか

#### V 大人も子どもも手をつなぐ、市民協働のまちづくり

- ・七尾市総合計画策定事業
- ・「人が輝く交流体感都市」七尾づくり提言募集事業 ほか



城山展望台からの景色



和倉温泉全景

# 平成20年度 予算編成にあたって

七尾市長 武元 文平

七尾市の財政状況については、税などの自主財源の減少や、三位一体改革の影響を大きく受け、歳入が歳出を支えきれないという危機的な状況です。平成19年度においては、震度6強を観測した能登半島地震や七尾東部の局地的な豪雨などにより甚大な被害を受け、その復旧や被災者生活再建支援、観光産業の復興に全力を注いできました。

このような状況の中、平成20年度においては、各種事業の見直しによる徹底した歳出削減を行い、前年度と同様、財政調整基金(※)を取り崩さず予算編成を行いました。

今後は、行財政改革の継続により、簡素で効率的な行政システムの早期確立と、将来にわたって持続可能な行政運営・財政基盤の安定を図っていきます。

重点施策としては、情報通信サービス体制の強化として「ケーブルテレビ整備事業(第3期工事)」、教育環境の充実にむけて「朝日中学校」校舎等の本体工事に着手します。また、中島地区の保育園を統合する「中島統合保育園建設事業」にも着手します。

震災からの復興対策として、被災者生活再建支援事業のほか、震災復興1周年記念事業として「和倉温泉短歌・俳句大会」を開催し、和倉温泉の誘客と賑わいを創出します。また、能登の魅力在全国に発信する「能登ふるさと博」や、七尾湾を周回するフルマラソン「能登和倉万葉の里マラソン」を開催します。

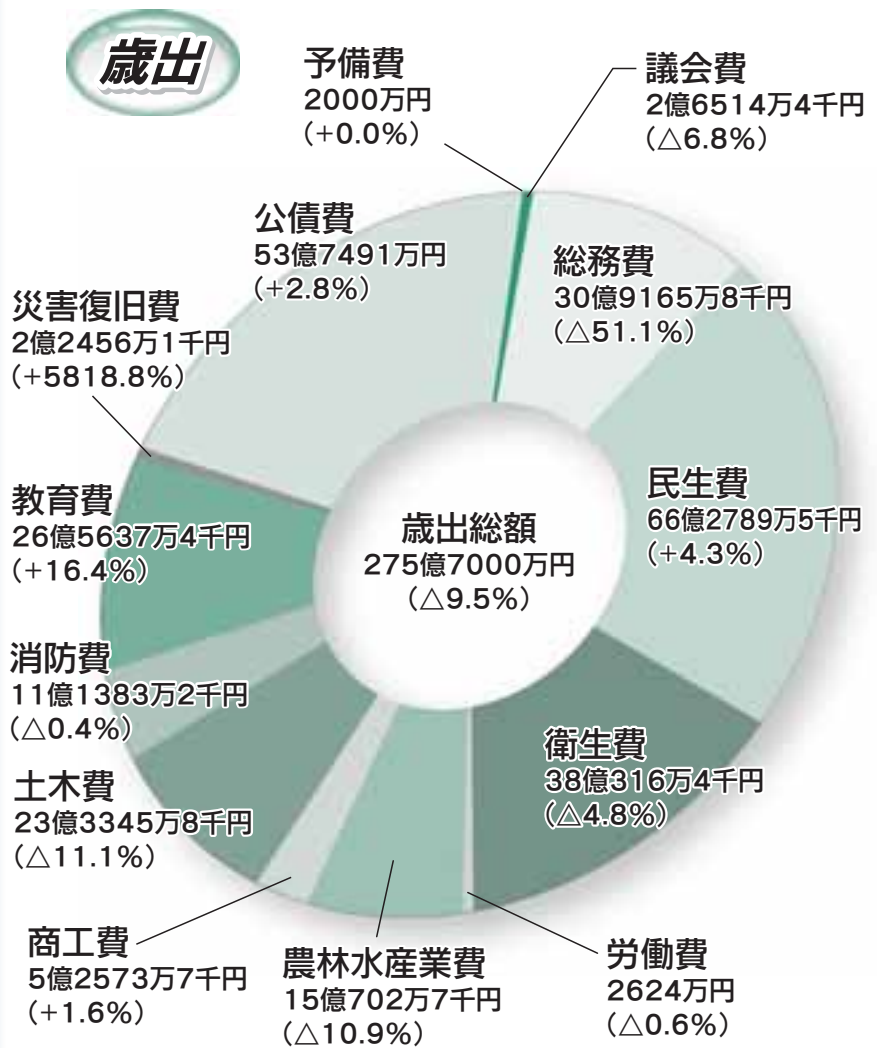
市民のみなさまにおかれましては、「能登の中核都市・七尾」にふさわしい健全・堅実な自治体経営を実現するため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## ※財政調整基金

突発的な災害や緊急を要する経費に充てるため積み立てているお金

## 一般会計

( ) 対前年伸率



## 特別会計

( ) 対前年伸率

(公営企業以外の特別会計)

公共用地先行取得事業特別会計	1753万円	(△61.8%)
ケーブルテレビ事業特別会計	21億7600万5千円	(+2643.0%)
墓地公園事業特別会計	27万4千円	(+15.1%)
国民健康保険特別会計	64億9149万1千円	(△0.1%)
老人保健特別会計	6億6467万円	(△90.4%)
後期高齢者医療保険特別会計	6億8951万円	皆増
介護保険特別会計	55億5951万2千円	(+9.7%)
簡易水道事業特別会計	2億6473万3千円	(+21.8%)
下水道事業特別会計	38億1527万6千円	(△5.3%)
観光施設事業特別会計	1億390万6千円	(+2.7%)
公設地方卸売市場事業特別会計	1億3170万5千円	(△0.5%)
分譲宅地造成事業特別会計	2336万1千円	(+5.1%)
工業団地造成事業特別会計	606万5千円	(+0.0%)
西岸財産区特別会計	40万円	(+233.3%)
水道事業会計(公営企業会計)	38億980万3千円	(+32.6%)